

# 佐倉市議会だより



2021年5月1日  
(令和3年)

発行・佐倉市議会 編集・広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL043-484-6254 FAX043-486-2508  
佐倉市ホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> メールアドレス [gikai@city.sakura.lg.jp](mailto:gikai@city.sakura.lg.jp)



## 創刊 100号記念

「夢と希望が感じられる動きのある議会運営」※を発信！

創刊前は議会で審議された議案等は「こうほう佐倉」に掲載しておりましたが、他の記事との兼ね合いで情報量不足が懸案となっており、独自に「佐倉市議会だより」を発行することとなりました。創刊以降、佐倉市議会では議会広報の在り方について議論を重ね、このたび100号を迎えました。 ※この見出しは創刊号の議長あいさつからの引用です。



第58号～  
平成22年11月1日発行



創刊号  
平成8年8月15日発行



第92号～  
平成31年4月15日発行

### 事実を詳しく、わかりやすく

当時はまだ珍しかった議員個別の議案賛否を掲載。委員会審査の内容、議案に対する会派等の意見も含め6ページ化。

**当時は** 4面で構成しており、タイトルは平仮名で「さくら」と表記。また、編集後記の「議会百景」、定例会ごとに緑、青、オレンジ、赤(当時は紫)の4色の基調色を使っている点は現在も通じる仕様となっています。

**つい手に取りたくなる見やすさを追求**  
表裏の表紙をカラーに。写真の多用、文字書体やサイズを見直して、見やすさを追求し8ページ化。第95号からは一般質問記事にインターネット動画を案内する二次元コードを掲載。

### 議会広報の歩み

- 平成8年・議会報編集委員会設置
- 平成9年・「さくら市議会だより」創刊号発行(6月定例会号)
- 平成10年・ケープルテレビ録画放送開始
- 平成16年・傍聴席の手話通訳開始
- 平成17年・本会議の会議録をインターネットで公開
- 平成22年・議会だより4ページから6ページへ増刷、各議員の「議案に対する賛否一覽」、各議員の「議案に対する賛否一覽」等を掲載(8月定例会号)
- 平成23年・広報公聴委員会設置
- 平成25年・第一回議会報告会、意見交換会開催
- 平成28年・本会議のインターネット中継開始
- 平成29年・委員会の会議録をインターネットで公開
- 平成30年・スマートフォンからも議会中継が視聴可能に
- 平成31年・傍聴席にモニター設置、車いす専用スペース確保
- 令和2年・傍聴席にモニター設置、車いす専用スペース確保
- 令和2年・議会だより6ページから8ページへ増刷し文字を大きく(2月定例会号)
- 令和2年・議会だよりを公共施設以外に
- 令和2年・市内セブンイレブンや
- 令和2年・イオンタウンユニカが丘へ配架
- 令和2年・議場設備更新、電子採決システム導入



電子採決システムで議員個人の賛否をわかりやすく



子供議会の様子

### 「議会だより創刊第100号発行によせて」

第64代議長 為田 浩



日頃より佐倉市議会だよりをご覧いただき、ありがとうございます。平成8年8月15日に発行された創刊号以来25年の歳月を経て、おかげさまでこのたび100号を迎えることができました。私は以前、広報公聴委員として約6年間編集を担っていましたが、その間、紙面を拡充し、デザインに工夫を重ね、わかりやすく、正確に議会活動の様々をお伝えするよう、心がけてまいりました。また、近年、活字媒体の衰退が言われていますが、紙面にウェブ情報を取り入れるなど、他媒体との融合も図り、より多くの市民の皆様にお届けできるよう、努めてまいります。これからも市民の皆様と佐倉市議会を繋ぐ、重要なコミュニケーションツールのひとつとして、よりわかりやすく、思わず読みたくなる広報紙を目指し、引き続き努力してまいります。今後とも、ご愛読いただきますよう、お願い申し上げます。

# 2月定例会

会期 2月22日～3月22日

## 令和3年度一般会計予算

### 475億2586万円

(前年度比7.7%減)

※補正後予算額

### 予算審査特別委員会を設置

令和3年度の予算審査を行うため、予算審査特別委員会を設置しました。



選出した委員は次のとおりです。(◎委員長 ○副委員長)

齋藤寛之、宇田実生子、敷根文裕、鍋田達子、岡野 敦、川口絵未、高木大輔、石渡康郎、◎櫻井道明、○久野妙子、萩原陽子、徳永由美子



座席間隔の確保、パーテーションの設置や委員会室の消毒等の感染防止対策の上、議案審査を行いました。

担の継続を求める「請願書」など5件が、議員提出議案の一部を改正する条例の制定について、な  
「佐倉市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について」な  
ど9件が提出され、審議しました。  
また、一般質問には、各会派の代表質問に6人、会派に属さない  
議員1人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。



3月5日に行われた新型コロナワクチンの  
集団接種訓練の様子

佐倉市議会は、2月22日から3月22  
日までの29日間にわたり、令和3年2  
月定例会を開催しました。  
今定例会では、市長から「令和3年  
度佐倉市一般会計予算」や「令和2年  
度佐倉市一般会計補正予算」など議案  
38件と諮問3件が提出され、審議の結  
果、可決・承認・同意・答申しまし  
た。

請願・陳情については、「75歳以上  
の医療費窓口負担について原則1割負

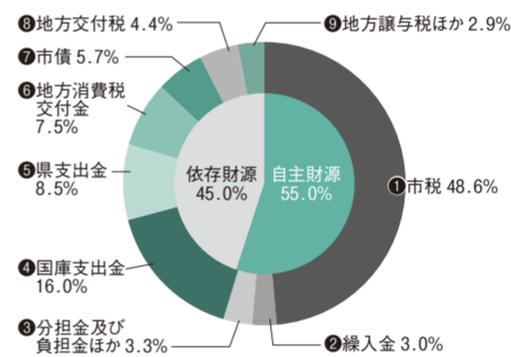
### 令和3年度の予算を審査

委員会審査では、担当職員からの説明と質疑応答により、予算内容の詳細把握に努め、各会計予算について、慎重に審査を行いました。定例会の本会議において、櫻井道明委員長から審査結果の報告をするとともに、次の4点について要望いたしました。

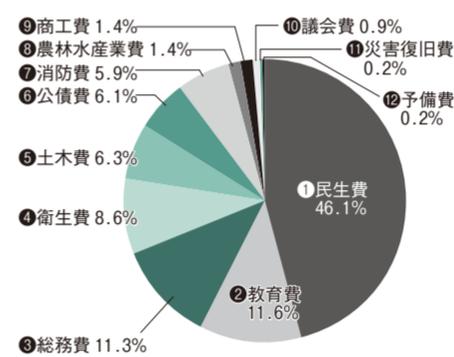
- ◆来年度には、保健事業と介護予防事業を一体的に行う新規事業も予定されているとのことだが、今後の高齢者の増加に鑑み、健康寿命の延伸プランや移手段、社会参加などに対する対策の強化をお願いしたい。
- ◆今後、国のデジタル化政策の方針を踏まえ、情報システムの標準化、行政手続のオンライン化を進めていくこととなるが、市民の利便性向上と行政の効率化の観点から、財政面にも配慮し、新たなデジタル技術の活用を検討していただきたい。
- ◆コロナ禍において、新しい生活様式を実践する中、居住地域を見直す流れもある。第5次佐倉市総合計画の重点目標の一つとして、子育て世代の流入、定住促進を掲げているが、子育て環境の一層の充実など良好な住環境の整備に努めていただくとともに、住生活基本計画推進事業等の支援制度の充実・拡充など、企画政策部を中心としたシティプロモーションにより定住人口の確保に努めていただきたい。
- ◆実質単年度収支の赤字が続く中、事業の精査による歳出抑制に努めるだけでなく、企業版ふるさと納税やクラウドファンディングなど新たな手法での歳入確保に努めるほか、長期的な収支確保に向け、定住促進や企業誘致など、庁内横断的な取り組みをさらに進めていただきたい。併せて、近年の災害復旧や感染症対策を踏まえ、財政調整基金を適正に確保し、不測の事態に備えていただきたい。

### 一般会計 475億2,586万円の内訳

#### 歳入



#### 歳出



### 令和3年度の事業をpickup!



赤ちゃんに「泣いてもいいよ!」の気持ちを伝えるステッカー等のグッズを作成し配布  
(WEラブ赤ちゃんプロジェクト事業) 【新規事業】



コミュニティバス「飯重・寺崎ルート」が2021.7.1  
運行開始予定。(JR佐倉駅⇄白井駅)  
(地域公共交通対策事業) 【拡充事業】

### 令和3年度各会計の予算額

※会計名の丸数字は議案番号

会計名	予算額	前年度比
①一般会計	475億2,586万円	(-7.7%)
②国民健康保険	177億4,058万3千円	(+0.2%)
③公共用地取得事業	277万6千円	(-5.7%)
④農業集落排水事業	2,015万円	(-6.1%)
⑤介護保険	133億9,267万6千円	(+6.7%)
⑥災害共済事業	503万1千円	(-1.8%)
⑦後期高齢者医療	27億5,238万7千円	(+3.5%)
総合計	814億3,946万3千円	(-3.5%)

会計名	収益的収入	収益的支出
⑧水道事業会計	41億5,615万3千円	42億8,493万8千円
	資本的収入	資本的支出
	6,472万5千円	23億3,206万円

会計名	収益的収入	収益的支出
⑨下水道事業会計	40億5,919万円	37億216万円
	資本的収入	資本的支出
	6億6,836万6千円	16億613万8千円

市政に関する

一般質問

2月定例会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般質問は昨年6月定例会以降の定例会に引き続き質問者数、質問時間を制限し、3月1日から3月4日までの4日間行いました。

市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所1号館2階市政資料室・市内各図書館にて会議録（6月上旬発行予定）の閲覧、または、佐倉市議会ホームページの会議録検索システム（会議録と同じ）からご覧いただけます。

一般質問通告要旨

代表質問 持ち時間は30分。（ ）内は会派名。【 】内は関連質問した同じ会派の議員。

齋藤明美（さくら会）

- ①市長の政治姿勢
②新型コロナウイルス感染症対策
③誰もが自分らしく生きられるまちづくり
④当面の課題

徳永由美子（自由民主さくら）

- ①財政と令和3年度の事業について
②コロナウイルス感染症とその影響について
③コロナ禍での自治会、市民活動について
④行政改革について
⑤生活困窮者自立支援について

久野妙子（公明党）

- ①市長の施政方針と当初予算編成について
②新型コロナワクチン接種について
③今後の介護保険制度の見直しと介護予防事業について
④難病や障害等がある方への支援について

五十嵐智美（市民ネットワーク）【川口絵未】

- ①市長の政治姿勢について
②高齢者福祉について
③水道料金の改定について
④デジタル化の課題と問題点

萩原陽子（日本共産党）【木崎俊行】

- ①新型コロナ対策の強化を
②コロナ禍での困窮支援
③コロナ危機・気候危機対策（グリーンリカバリー）
④佐倉図書館建て替え問題

藤崎良次（市民オンブズマンひまわり会）【宇田実生子】

- ①市長の政治姿勢
②市民の生活環境
③市政運営のソフト面ハード面について
④上別所のゴミの山について

会派に属さない議員の質問

高橋とみお

- ①オンライン社会の佐倉市
②民間活用について
③GIGAスクール構想とオンライン教育について
④新図書館の建て替え工事について
⑤佐倉市職員の賃下げについて
⑥第6次佐倉市行政改革について
⑦マイナンバーカードについて
⑧新型コロナウイルスワクチン接種について
⑨西志津スポーツ等多目的広場について

◎上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

市長の政治姿勢



代表質問

問 実質単年度収支が4年連続の赤字となるなど大変厳しい財政状況下での予算編成であったと思うが、令和3年度当初予算の特徴、特に新型コロナウイルス感染症への対応について伺う。
答 令和3年度予算は、厳しい財政状況を踏まえ、健全な財政運営と持続可能な財政の確立、限られた財源を有効かつ効果的に配分することを念頭に編成した。歳入予算では、市税の大幅な減少を見込み、国等の補助金や基金の活用など、必要な財源確保に努めるとともに、財政調整基金からの

繰り入れを抑制した結果、当初予算と1号補正予算を合わせた一般会計の総額は約475億円となり、令和2年度当初予算と比較し約39億円の減少となった。歳出予算では、新型コロナウイルス感染症対策に係るPCR検査のほか、佐倉城址公園や明神橋などの災害復旧に係る予算を優先した。また、浸水被害対策となる河川関連施設や都市排水施設の改修、京成臼井駅前への交番の移転など、市民の安全、安心な暮らしを確保するための予算にも重きを置いたほか、子育て支援や高齢者福祉の充実、地域経済の活性化やまちの魅力に資する予算も計上し、定住人口の増加を図っている。厳しい財政状況ではあるが、第5次佐倉市総合計

画の将来都市像、そして所信表明で掲げた重点目標の実現に向け、全力で取り組んでいく。
新型コロナウイルスワクチン接種について
問 進捗状況は。
答 本年1月に特命チームを設置し準備を進めており、市内の医療機関や民間企業と一丸となりオール佐倉で取り組む佐倉市モデルを構築した。佐倉市モデルの特徴は、地域の医療機関で行う個別接種と大型商業施設等で行う集団接種を準備し、市民が自身の体調や都合で選択し安心できるようにした。現在、高齢者接種に向け、接種券の発送や予約システムの最終調整を行っている。引き続き、様々な媒体を活用し、必要な情報を随時発信していく。

子どもの権利条例について
問 かねてより条例制定や庁内横断的な政策のひもづけ、子ども・若者参画を実践するための担当部署の必要性を訴えていた。条例制定に向けてどう進めていくか。
答 条例制定に向けた取り組み自体が子どもの権利について意識醸成につながる中で、関係部署と連携を図る中、調査研究を進める。
問 一斉休校からがらりと変わった学校生活や生活環境について、ぜひ子どもたちの声も拾ってほしい。
学校行事について
問 保護者参観の一律禁止ではなく、学校規模に合わせ参観できる工夫をしては。
答 学校行事を通し子ども



たちの成長を公開していくことは重要。感染状況と学校の見解を把握し判断する。
障害者施策と就労支援
問 障害者雇用は、場合によってスロープやトイレの改修などの費用が必要。佐倉市独自の障害者作業施設設置等助成金の検討は。
答 財政状況や周辺自治体の実施状況等を勘案しながら調査研究していく。
問 障害者雇用優良事業所を表彰する制度導入を問う。
答 先進事例を参考に検討。
公共施設等の維持管理
問 総合管理計画の見直しや公共施設の再配置について今後どう進めていくのか。
答 全庁横断的な検討会を立ち上げ、公共施設の適正化を進めていく。
問 将来更新費用だが、人口が減り、税収も減る中で

市民の負担が大きくなるのか、財源について伺う。
答 公共施設の長寿命化と再配置を同時に進めていくことが必要。公設公営にこだわらず官民連携による民間資金の活用も進めていく。
問 計画策定に当たり、しっかりと起債の償還シミュレーションも示すべき。公共施設はあくまでも公共サービスの拠点なので限定的な目的や利用者層に特化せず、施設が多機能化を図る必要があるのではないかと。
答 民間活用を含め施設全体の利活用と公共サービスの在り方を再検証する。
問 公共施設整備基金の活用をどう考えるか。
答 施設の在り方が明確となった段階で活用を検討。
市長の施政方針と当初予算編成について
問 来年度、市税約14億円の減収など厳しい財政状況の中、市長はどのように予算編成をされたか、市民生活への影響はないか伺う。
答 新型コロナウイルス感染症対策経費や昨年度の災害からの復旧復興経費を優先的に予算計上した。市民生活に直接影響のある予算の削減はしていない。
新型コロナウイルスワクチン接種について
問 実施方法と準備状況は。



「個別接種」と公共施設等による「集団接種」を予定。

対象者への周知方法は、

市ホームページや広報、接種券を送付する際に案内する。基礎疾患に該当するかどうか迷った場合、事前に、かかりつけ医やコールセンターへ相談をするよう、周知していく。

市民が安心できる接種環境の整備は不可欠である。副反応など万一の場合の対応策について伺う。

集団接種会場では医師が常駐し即時対応できるよう準備。印旛管内救急病院でも対応できる体制である。今後の介護保険制度の見直しと介護予防事業について

保険料を適正に設定することは当然だがコロナの影響で世帯収入も減る予定。保険料の抑制には健康寿命の延伸と介護予防事業の拡充が重要である。8期計画では効果的な健康づくりや介護予防をどのように充実させるつもりか伺う。

要介護状態になることの予防や軽減、重度化防止を図るため、引き続き重点施策として実施していく。住民主体の「通いの場」の拡充を図り保健師、理学療法士等の専門職が関与しながら、フレイル予防等の保健指導に取り組んでいく。難病や障害等がある方への支援について

昨年質問した「暗所視支援眼鏡」の導入について、進捗状況を伺う。

暗所視支援眼鏡が、夜盲や視野狭窄に苦しむ視覚障害者が日常生活を送る上で、有効な用具であることが確認できた。規則を改正し、令和3年4月の導入に向けて進めていく。



市民ネットワーク 五十嵐智美

PCR検査と医療体制などコロナ感染症対策について

高齢者施設でクラスターが発生した場合、関係者や周辺住民を含めた面的なPCR検査が必要。どうか。疫学調査の下で県や保健所が判断すべきと考える。

行政検査の拡充を国は通知している。市が感染拡大防止のため、積極的に社会的検査を進めるべき。検査の拡充を県に訴え、介護職のワクチン接種も早めるよう要望している。

ワクチン接種で副反応が起きた際の緊急対応方法やバックアップ体制を伺う。マニュアルを作成し、重篤な副反応には緊急搬送等の体制を整備している。接種は個人の自主的な判断を尊重し、過度の接種勧奨は行わないこと。水道料金の改定について 水道料金懇話会で使うほど料金が高くなる数値である通増度3・4を下げ、

小口利用者・市民は値上げし、大口利用者・事業者は安くする案が出された。他の通増度は成田市7・7、八千代市5・5と高い。委員が「市民の水は生活に直結する命の水であり、企業が営利のために使う水と同じ土俵で考えるべきでない」と発言したが、見解は、

小口利用者・大口利用者の納得度が高い改正案となるよう議論していく。市民の使う水は生活に欠かせない。市民の料金改定は抑制した設定にすべき。子どもの電磁波被害を防ぐ

影響を受けやすい子どものため、学校で無線LANを使わない時はオフにする手元スイッチの導入を。幅広い学習で活用するため、整備は行っていない。空き教室や保健室など、電磁波オフエリアを設けて。ICT機器は教室で活用。主に体育館は接続不可。5G携帯基地局建設

今後の市の方針を伺う。まちづくりには必要だが、公園は憩いの場、より慎重な取扱いの検討が必要。基地局建設計画の事前提出義務や、住民説明会の開催を定める条例制定を。電波防護指針を守っており、現時点で必要ない。市独自の健康を守るための施策を要望する。



日本共産党 萩原陽子

新型コロナウイルス対策の強化を

PCR検査費用は大幅に安くなった。検査拡充の市民要望に応えるべき。疫学的調査の下、保健所が判断すべき。ワクチンは不明な点が多く、PCR検査の重要性が再認識されている。ワクチン準備と併せ医師の判断を仰ぎ行っていく。コロナ禍での困窮支援

経済の悪化は弱者にしわ寄せされる。生活保護の相談等は増加しているか。令和3年1月までの3か月間の相談は116件で前年同月期より85件増加。開始決定は38件で前年同月期より28件増加している。申請に関するようほう

佐倉への掲載予定はあるか。関係所属と調整する。水道料金の値上げを止めて

ハッ場ダム完成で取水コストの増加分3億円を市民負担とするのは納得できない。また霞ヶ浦導水事業は水質が悪いことも心配だが、当該事業の完成で地下水割合は何割になるか。3割程度と見込む。安全で安価な水の供給のため霞ヶ浦導水事業からの撤退について見解を伺う。印旛地域全市町で参加しており継続し参加すべき。印旛の近隣自治体を佐

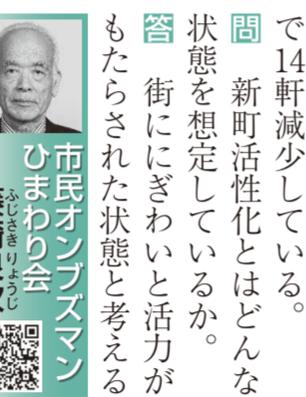
倉市が牽引することを望む。コロナ危機・気候変動対策

再生可能エネルギーの利活用について、できることは今すぐ取り組むべき。環境政策の考えを伺う。身近なところから対策を実施するとともに、情報収集に努め迅速に対応する。

耕作放棄地の再生に営農型太陽光発電設備設置は有効と思うが現状を伺う。市内4か所4haで実施。今後の課題について国・県と連携を図る。

佐倉図書館建て替え問題 この計画は中心市街地の再開発ではないか。この図書館が出来ることよって新町の活性化につながるかと信じている。新町の店舗はこの20年で何軒減少したか。調査資料のある10年間で14軒減少している。

新町活性化とはどんな状態を想定しているか。街ににぎわいと活力がもたらされた状態と考える。



市民オンブズマン ひまわり会 藤崎良次

ワクチン後のPCR検査 今後、ワクチン接種が進むが、PCR検査は。市独自のPCR等検査は、集団生活の子供たちや高齢者施設内での感染拡大防止に活用したい。

要介護・障がい者は約10% 新しいグループホーム

日中サービスタップホームとは。障がい者の重度化や高齢化に対し、常時の支援提供体制を確保した施設である。短期入所を併設し、緊急一時利用も可能。第6期障害者計画にも盛り込む。

これは推進してほしい。介護保険の認定者数は約7700人、障害者手帳所持者は約7600人、合計約1万5千人。佐倉市人口の約10%であり、皆が当事者になるとの理解が必要。

自宅での看取り介護増加 看取りの人数把握は。市では把握していない。支援を進めてほしい。介護者への支援として、介護者の集い、介護者教室を開催している。

修正必要な看板は約4割 アメリカでは選挙に不正があると考えている人が多い。佐倉市の政治活動用看板の設置や是正の状況は。看板341枚の調査を行い、何かしらの補正を必要とし文書を送付したものは138枚、比率は約39%。

違法ポスターは。直ちに撤去を要請する。捜査機関である警察に情報提供を行うこともある。(宇田実生子 関連質問)

上別所のごみの山について 地方公共団体の重要な機能は条例制定権である。佐倉市快適な生活環境に支障となる迷惑行為の防止に

関する条例を改正し、土地所有者に対し不適正な管理の是正を要請することは当然である。地方自治の本旨の意義と、法律と条例の関係についての考えを踏まえ

た上で考えを問う。

【答】 産廃に係る事務は県の事務で、県が行政処分による指導を行っている。市条例改正ではなく、法の枠組みに従い県と連携を図り解決に向け対応していく。

【問】 法律も条例も行政課題を解決するために定められている。何もしない姿勢こそ行政の一番の問題である。



高橋とみお

オンライン教育について

【問】 佐倉市のオンライン教育の方向性、今後の取り組み、課題等を、児童生徒や保護者、先生方等と共有するためには、それらについてしっかりと公表していく必要があると考えるが、執行部の考えを伺う。

【答】 タブレット端末を活用した学びの在り方やオンライン授業など、様々な視点から成果、課題について周知しつつ、情報教育の充実

行政改革について

【問】 国の方針に沿う行政改革は、効率化のみを追求するものであり、市民の暮らしを豊かにしていくか、不安である。受益と負担の適

正化、市民負担の公正・公平性の確保とは何か、伺う。

【答】 サービスにより利益を受ける特定の方に使用料や手数料を負担していただく。なぜ、使用料や手数料の見直しや学校開放の有料化、駐車場の有料化をするのか、市民サービスの低下ではないか、伺う。

【問】 公共サービスを維持するための財源に充てる、また受益者負担の原則からも公平な負担であり、市民サービスの低下にはつながらない。

西志津スポーツ等多目的広場について

【問】 本広場では、高齢者を中心に数百人の市民が毎朝ラジオ体操を実施し、健康寿命の延伸等に努めている。昨年10月には、延べ参加人数80万人を突破した。また、夏休みには子供たちを含め毎朝400人の参加で盛り上がりつつある。これこそがまちづくり、まちおこしの原点と考える。本ラジオ体操に数回参加されている市長の感想を伺う。

【答】 お子様からお年寄りまで大勢の方が参加し、私も大変有意義な時間を過ごした。地域の方々の健康増進や絆を深める本取り組みを、長年継続していることはすばらしいことだ。

【問】 本広場は佐倉市の強みの象徴だ。他方、好立地であるが故に、手放したら取

り戻すことはできない。今後も佐倉市にとって何が大切なのかを見極め市政に取り組んでいただきたい。

用語解説

【暗所視支援眼鏡(MW10)】

暗い場所や夜間の環境下で見えにくい方、困っている方に、より明るい視界を提供することを目的として開発された眼鏡型の機器です。

小型の高感度カメラで捉えた画像が、着用者の眼前に設置された有機ELディスプレイに投影されます。



ホームページもご覧ください!!

- 各検索サイトからは「佐倉市議会」を検索を
●会議録が検索できます!
●インターネット中継を見ることができます!
●政務活動費を公開しています!

主な議案の概要

2月定例会

市長から提出された議案のうち、議案第1号〜第9号、議案第33号〜第37号は令和3年度の一般会計、各特別会計、地方公営企業会計の当初予算・補正予算、議案第10号〜第15号及び第38号は令和2年度の一般会計、各特別会計の補正予算、議案第16号〜第29号は条例の制定、議案第30号は契約の締結、議案第31号は固定資産評価審査委員会委員の選任、議案第32号は専決処分の承認を求め、諮問第1号は審査請求、諮問第2号〜第3号は人権擁護委員候補者の推薦に関する議案です。

【議案第10号 令和2年度佐倉市一般会計補正予算】

歳入歳出それぞれ9億8707万円を減額するもの。
主な歳入は、市税、国庫支出金、県支出金、市債などの減、財産収入、寄附金などの増。
主な歳出は、新型コロナウイルス感染症による事業中止などに伴う事業費の減額のほか、各事業の執行に伴う計数整理による減額、財政一般事務費、障害者訓練等給付事業、介護保険特別会計介護給付費への繰出経費、小学校施設改築・改造事業などの増額。
継続費の補正は、(仮称)佐倉図書館等新町活性化複合施設整備事業の年割額の変更及び明神橋(6-108号線)災害復旧事業の期間の変更。
繰越明許費の補正は、経営体育成支援事業補助金など6件を追加。地方債の補正は、小学校トイレ改良事業債など3件の追加及び橋梁維持事業債など9件の限度額の変更。

【議案第19号 令和3年度における特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定について】
新型コロナウイルス感染症への対応と必要な住民サービスへの財源を確保するため、特別職職員の給料10%減額を時限的に行うもの。

【議案第30号 契約の締結について】

前田建設工業株式会社千葉営業所と請負契約の締結をした(仮称)佐倉図書館等新町活性化複合施設新築建築工事について、工事の過程で判明した敷地内の障害物を撤去する必要が生じたため、契約額を859万1千円増額する変更契約を締結するもの。

【議案第32号 専決処分の承認を求め(仮称)】

新型コロナウイルスワクチンの接種について、医療従事者から順次接種を行う予定が国より示されたことから、接種に向けて必要な体制を整備するための経費を予算化するもので、医療従事者への先行接種が2月末より開始される予定となっており、早期に事業着手する必要がことから、市長の専決処分により、歳入歳出それぞれ2億2139万円の一般会計補正予算を計上したもの。

【議案第33号〜第37号 令和3年度一般会計、特別会計及び地方公営企業会計 補正予算】

新型コロナウイルス感染症の影響により市税の大幅減が見込まれる一方で、感染症対策としての緊急の財政支出も予想されたことから職員人件費の独自削減を予定していたが、その後、国の第3次補正予算が成立し、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金が約5億円交付されることとなり、中小企業等への支援など各種対策を令和3年度に繰越して実施することが可能となったこと、また、自治体が主体となり実施する新型コロナウイルスワクチン接種について、その詳細が徐々に明らかになる中で、市としても、新型コロナウイルス感染症対策に関する特命チームの編成を始め、同対策の保健所業務の応援に関する特命発令など、今後市職員には、コロナ禍による負担を強いることが想定されることを踏まえ、職員人件費の独自削減を行うための条例の提案を見送ったことから、これに伴う職員人件費の不足分に対し増額の補正を行うもの。

【議案第38号 令和2年度佐倉市一般会計補正予算】

国の第3次補正予算で拡充された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの特定財源を活用し、感染拡大の防止に加え、事業継続や雇用維持など市独自の支援策等のうち、早急に事業着手する必要があるため、歳入歳出それぞれ15億679万7千円を増額するもので、補正後の予算総額は、738億4475万2千円。また、専決処分により予算計上した新型コロナウイルスワクチンの接種について、国の第3次補正を受け、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金の交付上限額が増額提示され対象経費が拡充されたため、必要な体制を整備するための経費を増額補正するもの。
歳入は、国庫支出金、財政調整基金からの繰入金金の増。
歳出は、緊急対応型任期付職員採用事業、新型コロナウイルス感染症対策事業者支援事業、新型コロナウイルスワクチン接種対策事業などの増額。
繰越明許費の補正は、緊急対応型任期付職員採用事業ほか7件の追加及び新型コロナウイルスワクチン接種対策事業を変更。





わくわく5月

令和3年度佐倉市一般会計  
予算案等に賛成

当初予算案については、2つの観点から検討した。一点目は、厳しい財政状況下で、必要な行政サービス水準を維持しつつ、新型コロナウイルス感染症対策等、喫緊の課題への対応が含まれているか、二点目は、当面する課題へ対応しつつ、第5次佐倉市総合計画に掲げる将来都市像の実現等、中長期的な市の発展に資する予算となっているか、以上を重視し、審査を行った。全体を概括すると、前年度と比較して規模が縮小しているものの、児童福祉や高齢者福祉、生活保護等の「民生費」、健康増進や環境保全などの「衛生費」は、昨年度と同規模の予算が確保されている。詳細に見ると、民生費では、健康寿命延伸を目的とした「保健事業」と介護予防の一体的実施事業「や仕事と子育ての両立に欠かせない」学童保育所施設整備事業、衛生費では感染症対策となる「健康危機対策事業」等、必要な新規事業に加え、既存事業も拡充されている。

整備を進めるための「観光拠点整備事業」や定住人口の増加を図るための「住生活基本計画推進事業」等、中長期的な市の発展に資する事業も計上されており、時宜を得たメリハリのある予算と高く評価する。さらに、今回の予算編成においては、すべての事業をゼロベースで見直すことを基本とし、歳出抑制を徹底したほか、国庫補助金等の特定財源確保に努めるなど、健全かつ持続可能な財政運営にも十分配慮されていると判断し、議案第1号及び議案第33号に賛成する。新型コロナウイルス感染症等の影響により、財政状況がますます厳しくなる中、効率的で、効果的な事業執行が求められている。各事業に設定された活動指標や成果指標に基づく検証を常に行い、不断の事業改善に取り組んでいただきたい。

な事前調整は否定しないが、それを強要することは、議員の提案権を侵害することになりかねない。また、議員の役割は、経費の多寡にかかわらず、「市民の意思」を市政に反映させるために活動するものと認識しており、政務活動費の減額が直ちに議員活動の縮小につながることは考えてはいない。いずれも世論をミスリードする発言と捉えており、この場で指摘させていただく。

10月には地域住民に対して用地買収を始める説明もしており多くの市民が55年に渡って待ち望んでいる。国道51号の4車線化と共に早急の開通に努めて欲しい。議案第32号障害福祉・介護事業者へのPCR検査費用一部助成に関しては必要に応じて支援の継続を求める。

議案第1号新年度一般会計予算に賛成・課題  
予算編成過程の透明性と市民参加を更に高めるため、市HP「一般会計査定状況」に事業概要を示すことが必要。上下水道料金引き上げ、公用車の経済的賃貸借契約、契約検査室の独立性確保等、課題は山積みである。

議案第1号に反対。納税案内センターや窓口取り扱いの業務委託は、責任を委託する一方で、会派内民主主義の徹底を目指している。第3号は、財源確保の点で賛成。第4号は、財源の使用が、飲食店等の経営継続等のため、賛否が分かれた。

議案第30号に賛成する。  
議案第3号、第4号  
議案第10号補正予算は図書館建設工事費6億2千万円超の入札差金で契約のあり方が問われる。さまざまな地盤調査が明らかで今後の工事に懸念があり、工事を差し止め、崖地の調査を求める。

議席12番  
議案第30号に賛成する。  
議案第3号、第4号  
議案第10号補正予算は図書館建設工事費6億2千万円超の入札差金で契約のあり方が問われる。さまざまな地盤調査が明らかで今後の工事に懸念があり、工事を差し止め、崖地の調査を求める。



## 委員会報告

※議案は市長提出議案 ○委員長 ○副委員長

### 総務常任委員会

#### 《審査結果》

議案10	議案11	議案12	議案14	議案15	議案16
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案17	議案18	議案19	議案20	議案21	議案30
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案32	議案38	請願11	陳情9	諮問1	
承認	可決	不採択	不採択	異議ない旨答申	

開催日：令和3年2月22日、3月8日 / 場所：全員協議会室

議案14件、請願1件、陳情1件、諮問1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・今後工事を行うにあたっては、大きな契約変更がないよう、事前に十分な調査を行っていただきたい。
- ・市民公益活動サポートセンターについては、今後運営方法の見直しを検討していくことが、議案審査の中で明らかになった。当該施設の管理運営については、以前議会から提起された課題を踏まえ、行財政改革の観点からも最適な運営方法を検討していただきたい。

〔委員〕○石渡康郎、○徳永由美子、川口絵未、高橋とみお、押木孝和、岡野 敦、爲田 浩



### 文教福祉常任委員会

#### 《審査結果》

議案10	議案13	議案22	議案23	議案24	議案25
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案26	議案27	議案32	議案38	請願12	請願13
可決	可決	承認	可決	不採択	不採択

開催日：令和3年3月9日 / 場所：全員協議会室

議案10件、請願2件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・新型コロナウイルスワクチン接種対策事業については、希望するすべての市民に対して滞りなく実施できるよう、国や医療機関等との連携、医師や看護師の人材確保など必要な措置を確実に実施し、接種体制を速やかに整えていただきたい。
- ・障害福祉施設、介護施設等の職員検査費用助成事業については、継続的に状況を把握しながら、感染拡大の予防に努めていただきたい。

〔委員〕○高木大輔、○山本英司、鍋田達子、密本成章、玉城清剛、五十嵐智美、萩原陽子



### 経済環境常任委員会

#### 《審査結果》

議案10	議案28	議案29	議案38
可決	可決	可決	可決

開催日：令和3年3月10日 / 場所：全員協議会室

議案4件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

コロナ禍における観光施設運営についての調査研究を進め、特色を生かした効率的な事業を展開していただきたい。

〔委員〕○久野妙子、○齋藤明美、宇田実生子、齋藤寛之、稲田敏昭、木崎俊行、中村孝治



### 建設常任委員会

#### 《審査結果》

議案10	請願14
可決	不採択

開催日：令和3年3月11日 / 場所：全員協議会室

議案1件、請願1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

緑と花づくり事業については、みどりのまちづくり基金を計画的かつ有効的に活用し、快適な公園の整備、管理運営に努めていただきたい。

〔委員〕○敷根文裕、○櫻井道明、松島 梢、石井秀明、藤崎良次、平野裕子、岡村芳樹

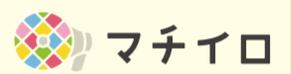


## オンラインによる行政視察を受け入れ

2月9日、神奈川県秦野市議会、会派『市民クラブ』の議員3名と秦野市職員による「RPAの活用と体制について」の視察をオンラインで受け入れました。佐倉市議会として初めての試みでしたが、ウェブ会議ツール・Zoomを使った意見交換が活発に行われ、コロナ禍における新たな取り組みとして非常に有意義な視察となりました。



※RPA…ロボティック・プロセス・オートメーションの略称。定型業務をスピーディかつ正確に遂行するため「ロボット」＝「自動化」でより付加価値の高い業務に集中でき、人手不足の解消や働き方改革につながる取り組みです。



スマートフォン用アプリで佐倉市議会だよりをご覧ください！

## 6月定例会の予定

- ◆議会運営委員会 6月1日(火)
- ◆招集日 6月7日(月) 午後1時から
- ◆一般質問 6月14日(月)～17日(木)
- ◆常任委員会 6月21日(月)～24日(木)
- ◆最終日 6月28日(月) 午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、詳細につきましては議会事務局までお問い合わせください。  
議会事務局 ☎043-484-6254

- インターネット中継：本会議(招集日・一般質問・最終日)の様相を開催時間中にライブ中継するほか、開催日のおおむね1週間後から録画中継を配信。
- CATV議会放映：本会議の様相を開催日の翌日午後5時30分から放送。  
【地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】

「同調圧力」なる言葉について専門家が「戦時中、挙国一致による悲劇を生んだ」と評した。馳せる想いは「議会改革」推進する会議が乏しく、議会内少数会派や無所属議員が「生きづらい」理由ではないか。挙国一致ならぬ「挙市一致」と、ならぬよう市民の声が削除なく届き、議員間「同調」ではなく合意と納得を得られる議論がしたい。(広報公聴委員 木崎俊行)

災害やコロナ禍の影響により、歳入が落ち込むことが想定される令和3年度予算審査特別委員会が開催されました。市政全般にわたる命と生活を守るための予算確保を重点に審査しました。未来への投資も着実にしなければなりません。様々な意見があり、侃々諤々に議論をかわしました。しかし、最終的に結論を出すのが議会の役割です。(広報公聴委員 岡野 敦)

## 議会百景